

dialogue

Taiwa town assembly official report

Volume

162

9月定例会  
平成21年11月1日

# たいわ町議会だより



頼むぜ！ まかせろ！（町小学校陸上記録会「リレー」）

予算決算 平成20年度予算が正しく使われたか検証 4～11ページ

町長の選挙公約は守られているのかほか一般質問者10名 12～21ページ

議会活性化に向け取り組んでいます 23ページ

自主防災組織の設置を急げ（なじよなった、あの提言は） 24ページ

## このようなことが審議されました

### 町営住宅家賃滞納、部屋の明け渡し求める

#### 【訴えの内容】

相手方は、町営住宅の家賃を6年間滞納しており、支払うよう何度も繰り返し請求をしたが、請求に応じない状況である。社会的な公正と秩序のため、町営住宅の明け渡しを求め、相手方を訴える。

**入居取り消しと退去**  
 議員 7月25日に「入居取り消し」になっているが、町ではどのような対応をとったのか。  
 都市建設課長 法的措置に移るといふ内容の催告や、訪問指導、最終通告を行った。今回の訴えも本人に通知している。

**どんな契約をしているの？**  
 議員 町営住宅に入居する時の契約で、「可か月未納の場合は退去」といった項目はあるのか。  
 都市建設課長 条例で「家賃3か月以上滞納の場合は、明け渡し請求ができる」となっている。

**ひゃ、百万円!?**  
 議員 そのような契約をしているのに、なぜこうなるのか。法的措置をとること、町が弁護士料を100

万円以上も払うが、このような問題が起こるたびに弁護士料を払うのか。強制撤去は町職員で行えないのか。  
 都市建設課長 職員も未納の回収に努めたが、このようない結果になった。強制退去は、公正な理由が必要となる。その公正な理由を求めるには裁判以外にない。裁判所の判決がないと法的には厳しい。

**一番の目的は退去してもらうこと**  
 議員 滞納金から弁護士料100万円を差し引くと、いくらになるのか。  
 都市建設課長 滞納額127万円から弁護士料100万円を引いた差額、約20万円が町の収入になる。

**他にもいるの？**  
 議員 このような悪質滞納者は何人いるのか。また、

# 9月定例会

(会期：9月7日～18日)

## 内容

条例の改正や補正予算、人事などを慎重に審議しました。また、平成20年度予算が正しく使われたかチェックするために決算特別委員会を開き、慎重に審査をしました。一般質問は10人の議員が、町の対応や考えを問いました。

## 契約案件2件

### ●新庁舎議場備品売買契約

契約者 (株)大友商事大和営業所  
 契約額 1342万8240円

【審議結果】可決 (賛成12 反対5)

家賃滞納者は全員で何人か。都市建設課長 家賃12か月以上の滞納者は、7人いる。家賃滞納者(20年度決算)は全員で28人である。

【審議結果】可決  
 (賛成17 反対0)

### ●道路改良舗装工事請負契約 (町道小鶴沢線)

落札者 我妻建設株式会社  
 契約額 5880万円

【審議結果】可決 (賛成17 反対0)



# やったー！新しい楽器が入る♪



**補正予算でこのような事業が進められます**  
 一般会計補正額 4億3076万円増  
 (審議結果) 可決(賛成17 反対0)

## 中学校施設整備 備品購入事業

**名門、大和中吹奏楽部**  
**議員** 以前、吹奏楽部で、個人で楽器を購入していると聞いた。今回の補正で間に合うくらい購入するのか。  
**教育総務課長** 楽器購入は、学校の要望を聞いた上で、今回の予算要求となった。個人の物を使わなくても十分に間に合う。

## インタビュー

新しい楽器が入りますがどうですか？



大和中学校 吹奏楽部長  
 2年 早坂真帆さん

今まで使っていた楽器は古かったので、新しい楽器が入ったら、みんなのやる気も更々上がります。次のコンクールに向けて頑張ります。

## 小・中学校施設整備 備品購入事業

**教育環境の整備で**  
**議員** よりよい授業を学校ICT整備事業の内容は。また、教育ふれあいセンターは対象となるのか。  
**教育総務課長** 50インチのデジタルテレビ、教師用パソコン、校内ネットワーク整備を考えている。教育ふれあいセンターは対象として考えていない。

## 大和町 民間保育所設立事業

**民間保育所設立に向け**  
**議員** 只今、準備中  
**議員** 旧農協跡地に民間保育所の設立に向け進めているが、公立と比べ民間保育の水準は。  
**保健福祉課長** 公立・私立を問わず、国が定めた保育施設の基準がある。官民の差は基本的にないと考えている。開所後は、民間保育所と連携を取り、水準の確保に努める。

## 自殺対策 緊急強化事業

**一言のあたたい言葉が**  
**議員** 苦しみから救い出す  
**議員** 国から自殺対策の緊急強化費が出ているが、本町の取り組みは。  
**保健福祉課長** 本町では、専門家の相談活動を行っている。本町の自殺の状況は、平成19年は10人で県平均の倍で、少ない人数ではない。今後も対策をとっていく。



民間保育所予定地



## 保育所整備の概要

開所時期：平成23年4月  
 定員：75名  
 (施設規模は100名可能)  
 土地代：無償  
 (10年間、満了時更新あり)  
 施設整備：国と町からの補助あり

# 予算がムダなく正しく 使われたかチェック

決算特別委員会

## 決算特別委員会を設置

全課の決算を細かく審査をするため、9月11日から18日までの間、決算特別委員会を設置し内容を検証しました。

(5ページから7ページまでは、各委員による質問です。8ページから10ページは、3常任委員会ごとに分かれて、各担当課の決算内容を質問しました。)

<b>税</b>	<b>会</b>	<b>財</b>	<b>総</b>
税務課	会計課	財政課	総務まちづくり課
<b>教</b>	<b>環</b>	<b>保</b>	<b>町</b>
教育総務課	環境生活課	保健福祉課	町民課
<b>水</b>	<b>都</b>	<b>産</b>	<b>生</b>
上下水道課	都市建設課	産業振興課	生涯学習課



今回の決算委員会は、堀籠日出子議員が委員長となり進められました。

質問は簡単・明瞭に  
お願いします

# すべて黒字決算

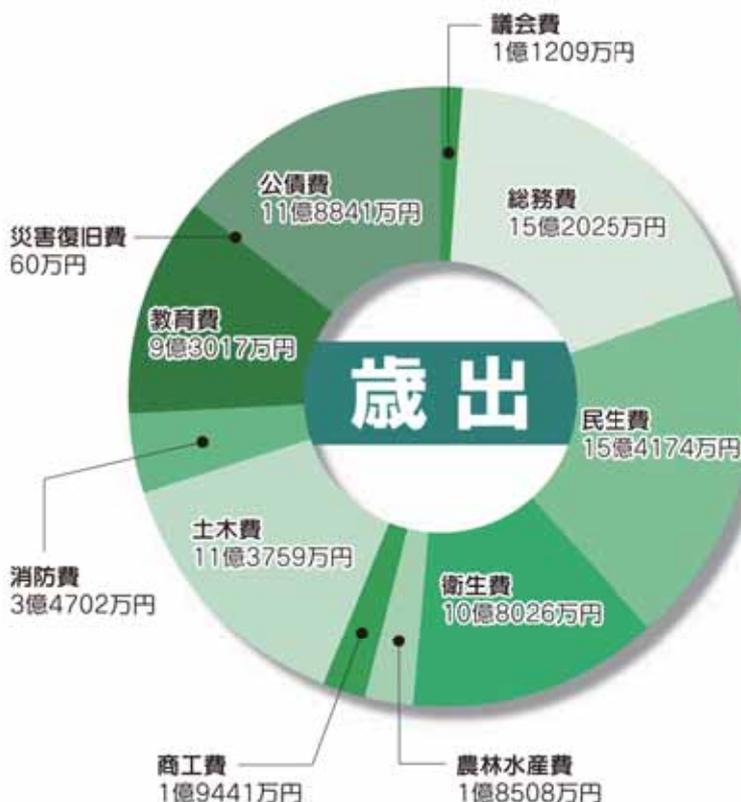
### 一般会計

歳出総額82億3762万円

【歳出内訳】

▲は減額 (単位：円)

区分	20年度	前年度比
議会費	1億1209万	▲899万
総務費	15億2025万	3億6027万
民生費	15億4174万	▲25万
衛生費	10億8026万	▲5898万
農林水産費	1億8508万	▲6430万
商工費	1億9441万	▲1億7072万
土木費	11億3759万	▲3億6175万
消防費	3億4702万	208万
教育費	9億3017万	▲2億6785万
災害復旧費	60万	60万
公債費	11億8841万	6524万
諸支出金	0万	▲6745万
合計	82億3762万	▲5億7210万





小さくても大活躍

**総 合格者は何人?**  
**委員** 昨年度、本町職員の採用試験に応募された総数と合格者数は。総務まちづくり課長 上級行政は、22人応募され2人合格。上級保健師は5人に對し1人。保育士は6人に對し1人。初級行政は24人に對し3人。計6人の採用である。

**パトロールで山火事防止**  
**委員** 消防で小型動力ポンプ積載車を2台購入したが活動内容は。総務まちづくり課長 主に吉田・宮床方面は山林警ら、山火事防止で動いている。消防団の夏季演習等でもポンプ車を使った訓練をしている。

**映りがわるい**  
**委員** テレビ共同受信の問題で、改善されていない地

**地デジは個々に対応**  
**委員** 地デジ対応は、アンテナが必要とのことだが、吉岡南地区の共同受信の場合どうなのか。総務まちづくり課長 地デジ対応になると、共同アンテナが必要でなくなるため個々にアンテナ設置をしていただくことになる。



バタバタやります

**一生懸命がんばっています**  
**委員** 臨時職員採用の内容は。総務まちづくり課長 業者からの派遣と町採用がある。能力・技術を持った方を採用している。

**会 お金の出し入れは**  
**委員** 入金、出金の年間の扱い状況は。会計課長 支出伝票で2万1991件である。その他、収入伝票や現金の扱いも1日100万以上になる。

**財 一番いい業者を選ぶ**  
**委員** 総合評価での入札は、主眼点により大分順位が変わってくる。だれが評価するのか。財政課長 総合評価は何点かの項目があり、その項目のポイントが多い業者を選ぶ。仙台土木事務所次長や学識経験者の意見ももらい、副町長と関係課長5名で構成する総合評価委員会で評価し業者を決める。

域はまだある。把握しているのか。まちづくり対策官 昨年に16箇所を調査を行った。調査の結果、ほとんどはアンテナ等の改善により解決できる。

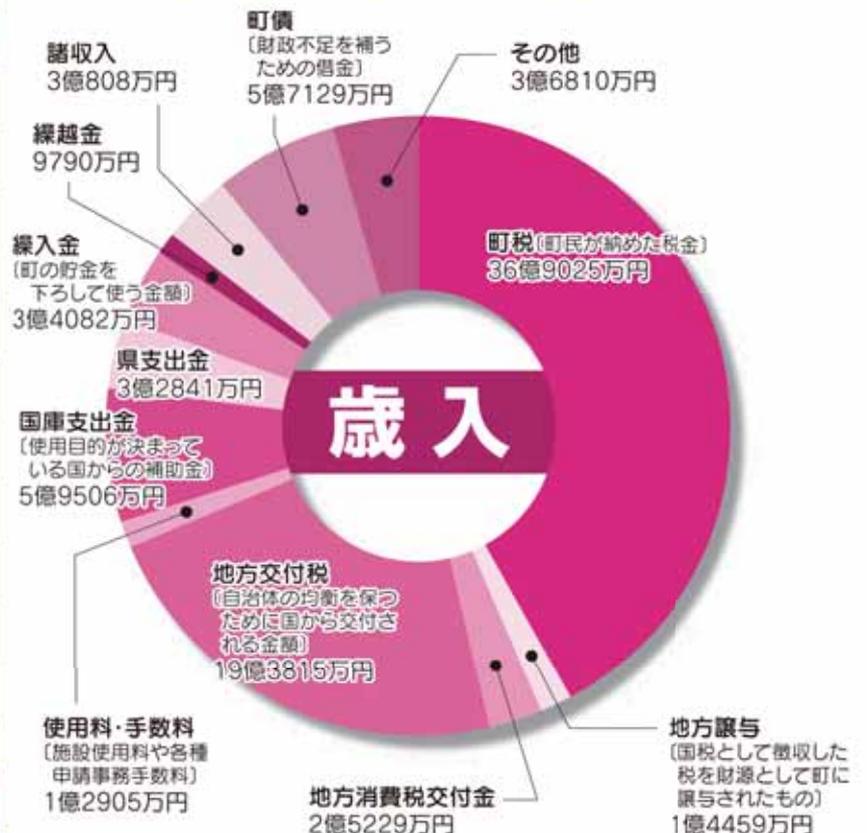
一般会計

歳入総額87億6399万円

【歳入内訳】 ▲は減額 (単位:円)

区分	20年度	前年度比
町 税	36億9025万	1108万
地方譲与	1億4459万	▲612万
地方消費税交付金	2億5229万	▲837万
地方交付税	19億3815万	594万
使用料・手数料	1億2905万	▲125万
国庫支出金	5億9506万	▲6564万
県支出金	3億2841万	▲2766万
繰入金	3億4082万	▲4億6852万
繰越金	9790万	1321万
諸収入	3億808万	1億1828万
町 債	5億7129万	2356万
その他	3億6810万	6186万
合計	87億6399万	▲3億4363万

一般・特別会計、



## 税

愛煙者のおかげで

2億円の税収

委員 仙台たばこ販売組合 女性黒川支部の活動内容は、税務課長 未成年者の喫煙防止やポイ捨て禁止等の活動を行っている。また、「たばこは町内で買ってください」というPRもしている。たばこ税は2億円であった。



未成年者はダメよ

## 町

工夫すれば経費が浮く

委員 町民課窓口で

交付書類と一緒に封筒も渡すが、年間の枚数は。

町民課長 年間1万3000枚ほどだ。単価が1枚10円なので、消費税込みで13万6500円の支出である。委員 封筒に広告を載せれば、広告料で経費削減ができるのでは。

町民課長 関係各課で検討してみる。

身分証明書にもなります

委員 住民基本台帳カード

は現在、何人位に交付しているのか。町民課長 平成15年から今年の3月31日現在で、202枚交付した。

## 保

助成で介護のお手伝い

委員 介護用品の購

入助成券、1人当たり何枚か。保健福祉課長 要介護3以上の方に、日常生活に必要な物の購入助成として、月当たり3000円の券2枚を助成している。対象者は200名である。

楽しい時間を過ごしてね

委員 障害福祉で本町独自の事業「もりの子クラブ」

を行っているが内容は。福祉班長 障害児を対象として、七ツ森希望の家で活動をしている。夏休み等の長期休みに数日、レクレーションなどを行っている。20年度は11名の利用があり、少しずつ増えている。

介護家族の負担軽減を

委員 介護関係で住民が求めているサービスの特徴は。

介護保険班長 一時的に利用

できる、ショートステイなどの施設整備が必要だ。だが、事業所が施設を作らないとショートステイの施設もできないので、今後の計画に盛り込んでいく。

## 環

余っても困る

委員 防疫薬剤は、

毎年同じ数量が配られ、余って困る。正確な数を把握しているのか。環境生活課長 必要数量の申請をいただいてから、薬剤を配布している。在庫は調査を行い、確認をする。

結局、個人にあげている

ことじゃないの？

委員 電気柵の貸し出しを

行っているが、秋口や冬場の使わない時期は外して返してもらっているのか。環境生活課長 バッテリーなどの消耗品が全部個人持ちになっているので、秋口での回収は行っていない。

きちんとした処理を

委員 産廃処理業者の許可

期間と内容は。環境生活課長 許可期間は2年である。産廃は県の管

轄となり、詳しい内容の把握はしていない。

しかし、本町で廃棄物が積んであると連絡があった場合は、県、塩釜保健所、産廃Gメンの方と一緒に現場に立会い指導を行っている。

無責任な捨て方をするな

委員 不法投棄監視パトロールの内容は。

環境生活課長 1週間に2日、1日8時間パトロールしている。不法投棄があればすぐに集め、1日で軽トラック1台分ぐらい集めている。



今日も大量だ

## 教

こんなところで

燃やすな

委員 落合教育ふれあいセンター付近で、ぼやが発生した。どのような状況だったのか。

教育総務課長 今回で2度目である。現場にはプロックが置いてあり、意図的にごみを燃やした跡があった。その火が杉の木に移り、ぼや騒ぎとなった。

暖かい物は温かく

冷たい物は冷たく

委員 保温用食缶を導入してから、残食は減ったのか。

教育総務課長 導入後は「温かく、おいしい御飯が食べ



芋煮会の場所ではない

られる」と好評だ。残食の変動率は今後、注意して見ていく。

もりもり食べて元気に育て

委員 小・中学校で食育の

推進をどう図ったのか。給食センター所長 栄養士が学校へ出向き、子どもたちに地産地消や食の大切さを知ってもらった。

家では遊びたい

委員 学力向上対策は、具

体的にどのようなことを行

ったのか。教育総務課長 家庭学習の習慣をつけるように、啓発を進めている。

## 給食費 SOS

**委員** 学校給食の未納の現状と課題は。

**教育総務課長** 未納金の徴収は、先生と町職員で行っている。3か月以上滞納している人は、教頭先生と町職員で徴収を行う。それでも滞納額が増えている。今後は、徴収回数を増やし、未納金を減らすよう努める。

**委員** PTAには話しているのか。  
**教育総務課長** 今までは、PTAに直接話す機会はなかった。滞納の実態を知らせ、PTAの協力をいただき進めたい。



子どもたちのために、おいしく作ります

## 生

**遠くまで行くのは大変**  
**委員** グラウンドゴルフは四十八滝公園を主に

行っているが、行くまで大変だという声を聞く。総合

運動公園にある多目的広場は使えないのか。

**生涯学習課長** グラウンドゴルフでも使用できる。コースを設定する用具も2組そろえた。今後も有効利用を図る。

## 放課後って楽しいよね

**委員** 地域ごとに開催されている「放課後子ども教室」の参加人数と、好評な取り組みは。

**生涯学習課長** 小野小で1440人、吉田小437人、鶴巣小1098人、落合小988人の参加だった。小野小は貼り絵、吉田小はドッジボール的な遊び「ドッジボール」、鶴巣小は人形劇の鑑賞、落合小は芋ほりや芋煮体験が好評だった。

## 産

### 秋のお祭り

**委員** 「たいわ産業まつり事業」は、どの程度定着したのか。

**産業振興課長** 昨年で7回目となり、毎年千人から1500人のお客さんが来る。祭りは、農業関係者や商工会が主体となり、地場産品の販売や商店街の活性化を目的に行っている。

## 暑くて大変なんです

**委員** まほろば夏祭りは2日間行われるが、ボランティアの方々から「2日間はつらい」との声が出ている。今後の考えは。

**産業振興課長** 夏祭り実行委員会で協議し、2日間とした。ボランティアの方々も大変だが、お客さんも楽しみにして来られるので、今後も2日間で行う。

## 工業団地を

### 企業でいっぱい

**委員** 企業立地用地取得奨励金助成は、どこの企業に助成したのか。

**産業振興課長** 企業立地奨励金は2社で2999万円、全農宮城県本部とピーアイ運送に助成。用地取得奨励金は2社で103万円、パールライス宮城とピーアイ運送に助成。用地取得助成金は1社で3132万円、協和運輸倉庫に助成。



にぎわった産業まつり

## 都

### もっと明るくして



暗くてさびしい

**委員** 防犯灯の設置状況は。

**都市建設課長** 各地区から要請があり、現場を見て対応している。今後、大量の設置が予想されるのは杜の丘団地だ。また、町内会全体が暗いという意見も寄せられているので、性能のいい器具に順次交換していく。

### 除雪後に苦情

**委員** 除雪は路線により、大分違う。中には雑で、苦情を聞く路線もあるが。

**都市建設課長** 除雪は路線ごとに業者委託している。熟練した技能者を配置している業者もあるが、中にはそうでない場合もある。今後は、業者への指導を徹底していく。

## 同じようで、違うんです

**委員** 防雪ネットを防雪柵に替えられないのか。

### 仙台から大衡までを

#### つなぐ大きい道路

**委員** 北四番丁大衡線工事は、ここ二、三年動きがないが、どうなっているのか。  
**都市建設課長** 現在、小野工区を工事中。県の方針では、平成25年まで完成したとのことだ。

## 水

### 脱、汲み取り

**委員** 農集排の供用率、接続率は何%か。

**都市建設課長** 計画処理数は290戸で211戸接続している。水洗化率は77.3%だ。



まだ遠い仙台

**総** まだ半分以上

委員 自主防災組織は、21区20組織結成しているが、まだ半分に達していない。今後の宮城県沖地震や大規模災害に備え、結成を急げ。地域は、自分たちで守る町長 阪神・淡路大震災の経験から、地域の防災活動の重要性と必要性を得て、

全国的に自主防災の組織化が進められている。

自主防災組織は「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感が大事だ。

今後も、各区長さんや町内会、婦人防火クラブ、消防団、黒川消防署等の指導協力を得ながら設立に取り組んでいく。



急いで、急いで

# 総務まちづくり課、財政課、環境生活課に問う

総務常任委員会 代表 伊藤 勝

悪質者にはきびしく対応町長 町税・国保税等の滞納は、結果的に多くの善良

委員 最近の経済状況を反映し、町税・国保税等の徴収率が低迷している。特に国保税は60%を切り、このままでは国保財政の運営は大変厳しくなる。収納率向上をどう進めるのか。

**財** しっかりと納めて



未来の管理職に

な納税者の負担になり、税の公平性を揺るがしてしまふ。収納率を上げるため、  
①高額滞納者や悪質滞納者は協議の上、県地方税滞納整理機構へ依頼し滞納整理を行う。  
②滞納予備軍は収納を促し、収納率の向上を図る。  
また、口座振替利用率を高め、コンビニ収納やインターネット公売も検討する。

**環** 男性だけでなく女性も

委員 昨年度中に実施した、男女共同参画推進事業の内容と成果は。

成果は2倍以上

町長 男女共同参画推進審議員、各種団体代表者等を対象に講演会を行った。また、くろかわ商工会女性部、母親クラブ等を対象に3回のフォーラムを開いた。皆様からの意見を今後の推進プランに十分活かしていく。審議会等の女性登用率は、平成11年は11・2%、21年では24・8%と倍以上になっている。今後も推進を進めていく。

委員 役場の管理職は男性ばかりだ。周辺町村には女性の管理職も見受けられる。本町では、女性管理職の登用をどう考えるか。  
町長 男女という区別はしていない。管理職にふさわしく、能力のある人がいれば積極的に登用していく。



老朽化と共に、寂しさもただよう

**教** 旧嘉太神分校を森の学び舎に

委員 升沢にある野外活動施設「森の学び舎」は、老朽化が進んでいる。現在の機能を旧嘉太神分校に移しては。

多額の補助を返すことになる

町長 旧升沢分校は、防衛施設局の補助を受け昭和50年に建設された。

平成8年3月に閉校し、4月から野外活動の拠点施設「森の学び舎」として生まれ変わった。毎年1500人以上の方々が日帰りや宿泊施設として利用している。

現在の建物は補助を受けて建てたものであり、解体する場合は多額の補助金を返すことになる。現在の建物を維持しながら継続利用をしていく。

# 教育委員会、保健福祉課に問う

社会文教常任委員会 代表 中川久男

**保** 入りたくても入れない

委員 居宅介護の伸びが20%と大きな伸びを示しているが、介護施設の利用も8%増えている。介護施設に入りたくても入れない人が増えてきている。介護施設の建設計画を考えては。

介護施設の整備が不可欠

町長 特別養護老人ホームの待機者（入所希望者）は、20年6月時点で98名、その後22名の方が入所している。老人保健施設の利用状況は、19年度で年間671名、20年度は824名と増加している。

今後の高齢者の増加に対応するためには、施設整備が不可欠だ。保険料の増額にもつながることなので、町民懇談会等で話し合いな

から計画をしていく。委員 町独自の事業を取り入れるなどして、介護先進の町を目指す考えは。町長 介護予防事業の取り組みは、筋力アップや転倒予防講座、口腔講座、栄養講座、認知症予防講座、笑い塾などの事業を他町村に先駆けて行っている。



こんな施設がもつとほしい

**産** いろんなことを  
しているのか

委員 農地・水・環境保全  
支援事業は、19年度から23  
年度まで行われるが、その  
内容は。

**農地・農業用水等の  
環境を守る**

町長 農家・非農家を問わ  
ず行政区内の農業実行組合、  
老人クラブ、PTA、消防



だいぶキレイになったね

団等の参加を得ながら、農  
道の砂利敷き補修、水路の  
草刈、花の植栽等の地域共  
同活動に支援するものだ。  
委員 対象地域によって環  
境美化に差があるのでは。  
町長 20団体がこの事業に  
取り組んでいる。地域活動  
指針どおりに行ったのか実  
績をチェックし、指導をし  
たい。

産業振興課、上下水道課、都市建設課に問う

産業建設常任委員会 代表 大友勝衛

**都** 販売状況は

委員 吉岡南第二土地整理  
組合の保留地販売は、どう  
なっているのか。

半分にも達していない  
町長 平成17年から販売を  
始め、本年8月末現在で98  
件、全体の45・6%である。  
この内、大半が商業地で、  
住宅地は284区画中、88  
区画売れた。

本事業は20年度までに完  
了する予定だったが、保留  
地の販売が半分にも満たな  
い状況なので、24年度まで  
事業延長をした。  
今後は、セントラル自動  
車等大手企業の従業員に住  
宅を取得していただくこと  
に期待している。

- 主な、町から組合への  
事業支援**
- 事業費推進費（1億円）
  - 事業費推進補助金  
（5000万円）
  - 公共用地管理者負担金  
（7923万円）



七ツ森の見える、いい場所なのになあー

**水** 滞納金は

委員 農業集落排水事業の  
分担金及び使用料の収入未  
済額をどうするのか。

**水道を停止**  
町長 水道料金と併せて、

定期的な訪問徴収と納付相  
談、水道の停止処分など段  
階的な催告強化で継続的な  
徴収活動を行う。未納者が  
増加しないよう、収納率の  
向上に努める。

予算が早く使われたが

# 討論

## 各会計 ごとに 採決

討論とは、採決の前に反対者・賛成者がそれぞれ「なぜ反対か賛成か」意見を述べることです。

### 一般会計

藤巻博史議員

### ×反対

経済危機で、税金の支払いに困っている人がいる中、企業誘致奨励金等は、商工振興費1億7000万円の約6割を占めている。これは固定資産税を特例で一まけてあげる一ということで、税金の公平負担ではない。このような使い方は止め、町民主体のキメ細かい行政をしてもらいたいことで、今回の決算は認められず反対する。

### ○賛成

自主財源の町税は、過去最高の決算となり、近年続いてきた財政調整基金からの繰入をしないで財源確保が図られた。そういう中で、行政サービス、住民福祉の向上、各種事業遂行のため、不要な歳出は削減し節約に努めた結果、3億5116万円の黒字決算となった。健全化比率も適正・良好なことから、本決算の認定に賛成する。

中山和広議員

討論

一般会計	賛成16	反対1
国保会計	賛成17	反対0
介護保険会計	賛成17	反対0
宮床財産区会計	賛成17	反対0
吉田財産区会計	賛成17	反対0
落合財産区会計	賛成17	反対0
奨学事業会計	賛成17	反対0
老人保健会計	賛成17	反対0
後期高齢者会計	賛成17	反対0
下水道会計	賛成17	反対0
農業集落排水会計	賛成17	反対0
戸別合併処理浄化槽会計	賛成17	反対0
土地取得会計	賛成17	反対0
水道事業会計	賛成17	反対0

## 決算認定

## 財政健全化指標で自治体の財政を見極ろ

自治体の財政危機を未然に防ぐために、昨年度から「健全化指標」の公表が義務付けられました。財政状況はこの4つの指標を使って判断しますが、1つでも基準値を超えると財政悪化を示します。

区分	黄色信号 (注意)		赤信号 (財政破綻)		大和町 (平成20年度)	判定
	基準値	早期健全化団体	基準値	財政再生団体		
1. 実質赤字比率※ (一般会計に占める赤字の割合)	14.42%	4指標のうち1つでも基準値を超えれば『 <b>早期健全化団体</b> 』となり、自治体は自主的に財政を改善しなければなりません	20%	3指標のうち1つでも基準値を超えれば、国の管理下で財政再生を進める『 <b>財政再生団体</b> 』となります	黒字	正常
2. 連結実質赤字比率※ (公営企業などを含む全会計に占める赤字の割合)	19.42%		30%			正常
3. 実質公債費比率 (自治体の収入に対する借金返済額の割合)	25%		35%			正常
4. 将来負担比率 (将来にわたる負債「借金」の割合)	350%					正常
結果：問題なし						

※「1.実質赤字比率」と「2.連結実質赤字比率」の基準値は、各市町村の標準財政規模によって異なります。



議員 高平 聡 雄

# 町長のマニフェスト 検証を

町長 常に、選挙公約したことを意識している

**議員** 浅野町長のマニフェストでは「これまでの実績 これからの挑戦」を示しているが、その進捗状況の評価は誰が行っているのか。結果を公表する考えは

**町長** 二期八年の成果と三期目に向け、①誰もが安心して暮らせる社会福祉、②未来を担う人づくりと地域文化の創造、③安全・安心な生活環境の整備、④自然の恵みと技術が連携した産業の展開、⑤計画を推進するために、⑥民間委託の推進の6項目を選挙公約とした。常に進捗状況を意識して仕事を行っている。

なお、結果の公表は、どんな方法で町民に伝えるか考えてみたい。

**議員** 町には県事業負担金が存在するが、県から明細が示されているのか。また、納得のいかない負担金は拒否を含め、見直しが必要でないか。

**町長** 国営みちのく杜の湖畔公園整備事業、流域下水道事業、名子沢溜池整備（落合）、障勝負溜池整備（鶴巣）、障害防止対策事業（八志田堰）



## 国・県の負担金は、言われるままに支払うのか

町長 負担金は両者の協議で定めている

**議員** 町には県事業負担金が存在するが、県から明細が示されているのか。また、納得のいかない負担金は拒否を含め、見直しが必要でないか。

**町長** 国営みちのく杜の湖畔公園整備事業、流域下水道事業、名子沢溜池整備（落合）、障勝負溜池整備（鶴巣）、障害防止対策事業（八志田堰）

**議員** 負担金について意見交換の場を設置してはどうか。

**町長** 県仙台土木事務所と意見交換会を行っており、それぞれの事業でも、県と直接意見交換を行える体制にある。

**議員** 根拠が不明確なものに

## 財産区基金の運用を円れ

町長 必要であれば、協議する

**議員** 財産区基金の借入れと、金融機関借入れを使い分けしているが、管理者の町長は、基金の運用を各財産区と定期協議をしているのか。有益となる基金の借入れを推進すべきと考えるが。

**町長** 基金運用の定期的協議は行っていない。双方に有益となる基金の新たな借入れ推進事例はあるが、財政健全化法等から留意点や調査確認が求められる、対応が必要である。

説明を求める考えはないか。

**町長** 県営溜池整備事業は国50%、県39%、町11%、障害防止対策事業では国6分の4、県6分の1、町6分の1となっている。その他も県との負担割合は、両者の協議で定めている。

# ボランティア活動で介護予防

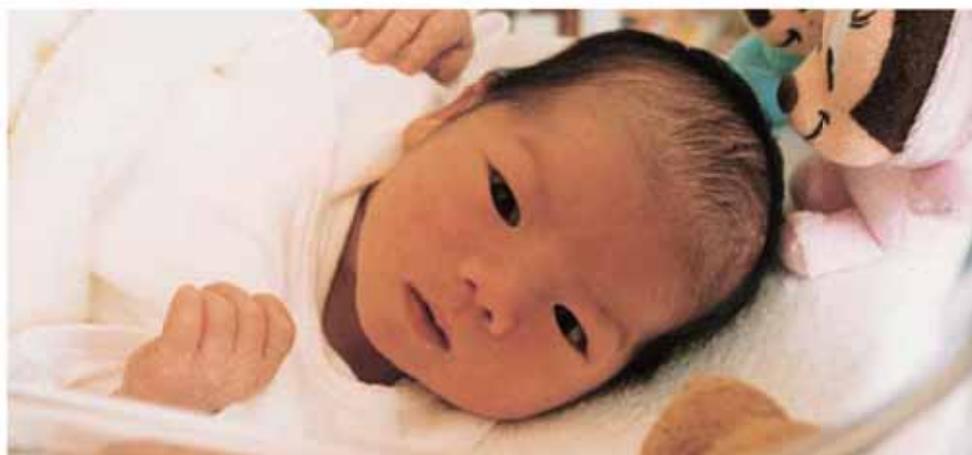
## 町長 環境づくりに取り組む

**議員** 介護支援ボランティア制度は65歳以上の高齢者が対象で、活動に応じてポイントが与えられる制度である。そのポイントを貯めておくことで、将来介護が必要となった時、介護サービスが受けられ、ポイント換金で保険料負担の軽減ができる。ボランティア活動に参加する事で、高齢者自身の社会参加と介護予防事業につながる。元気高齢者を目指す「介護支援ボランティア制度」を導入しては、町長 介護保険事業での地域支援事業であり、施設活動を主体とした事業である。制度

導入を実施している自治体もあるが、広がりが見えない。  
**議員** 町独自の事業として導入できないか。  
町長 導入は今後の検討課題とし、支援環境づくりに取り組む。  
**議員** 高齢者ボランティア事業と20年度の登録会員数は。  
町長 「活き生きサロン」899人、「ボランティア友の会」400人、「大和ボランティアセンター」800人で、食事・演芸・調理・配達・高齢者一人暮らし見守りなど、どの活動を行っている。

## 不妊治療に医療費の貸付けを

### 町長 制度の充実を国・県に要望



こんにちは赤ちゃん♥

**議員** 少子化が進む今日、子どもに恵まれず、悩んでいる夫婦が8組に1組いるといわれている。いつ妊娠できるかわからない不妊治療は、長い年月と多額の医療費がかかり、途中で断念する夫婦も多い。助成制度はあるが、治療費の

ほんの一部でしかない。精神的負担も大きい不妊治療に、せめて経済的負担が軽減できる施策が必要ではないか。  
町長 国の治療費助成は年2回までで、1回の治療費に15万円、助成期間は5年間である。

不妊治療は、体外受精や顕微授精が行われるが、治療の効果が現れない場合もある。貸付制度を実施した場合、治療に要した費用の貸付金だけが残る事が考えられる。制度の充実を国・県に要望する。

**議員** 本町には、結婚相談員やカップリング事業はあるものの成果が出ていない。結婚を望む男女の仲介や相談、助言などを行う「結婚お世話人」を任命し、こちらから出向く結婚支援事業に取り組んではどうか。  
町長 結婚の件数は6年間で2組。20年度の相談件数は14件である。今後も結婚相談員と結婚アドバイザーの活用を図り、多くの出会いの場を提供していく。

## 出向くお世話人を

### 町長 出会いの場を提供



議員 日出子 堀籠



議員 志高 渡平

# 鶴巣・落合・吉田・宮床 地区の少子化対策は

## 町長 地域への愛着図り、流出を防ぐ

**議員** 今日の大和町内の発展全体を見ると吉岡地区一極集中で、宅地造成も進み、人口もさらに増えている。その一方で、鶴巣・落合・吉田・宮床地区は少子化も手伝い、各小学校では複式学級も余儀なくされている。少子化対策をどう考えているのか。

**町長** 新規の住宅団地開発は難しく、人口増加の期待はあまりできない。今後の対応は地域外への流出を食い止めることが重要と考える。

**議員** 小学校周辺のまちづくりを、どう考えているのか。

**町長** 各地域の中心部としての役割を果たしている。既存の施設を活用し、それぞれの地域が魅力を持ち、コミュニティ活動を通じ、地域への愛着を図る必要がある。

## 職員の勤務時間内を全面禁煙に

### 町長 職務専念の義務に欠ける、今後を指導する

**議員** 国と地方の公務員が勤務中に喫煙することで生じる損害は、年間約2兆円とする試算がある大学教授がまとめた。試算の条件として

- 喫煙する職員は全体の20%
- 勤務時間内に1日15本吸う
- 分煙施設との往復も含め、1本で10分かかると設定

**町長** 喫煙者は自分の健康だけでなく、周りの人々の健康にも配慮する必要がある。新庁舎は「多数の方が利用する



夜8時まで受付、その後は開票作業

## 投票時間の繰り上げを町長 慎重に対処する

**議員** 県選管は今回の衆議院の投票の終了時刻を、県内8市町村が繰り上げると発表した。前回は77箇所であったが、今回は203箇所を増えた。栗原市選管は「市長選や市議選でも投票終了時刻を早め、繰り上げは市民に定着している。期日前投票が浸透してきたことも大きい」と説明する。本町でも繰り上げ投票終了時刻を早める考えは。

**町長** 投票率や期日前投票の状況分析や、新たに有権者アンケート実施の検討など慎重に対処する。

全公務員の人件費の約6%に相当するという。来年5月に開庁する新庁舎は全面禁煙であることから、早急な対策が必要ではないか。

**町長** 喫煙者は自分の健康だけでなく、周りの人々の健康にも配慮する必要がある。新庁舎は「多数の方が利用する

# 協働のまちづくりの推進方策は

町長 広報等で、区長・町民へPRを図る

**議員** 今年度を初年度とした第四次総合計画がスタートした。計画の中には、町民の自主性と創意工夫を尊重した、町民参加による「まちづくり」と、取り組みを通した「人づくり」の推進を図るとある。

実際に活動に取り進む区長や町民に対して、町としての基本的な考え方や推進方法等を理解してもらうため、資料を配布し説明すべきではないか。

**町長** 第四次総合計画は、まちづくり推進をキーワードに「協働」と「人づくり」を掲

げている。4月より「広報たいわ」の紙面で、テーマごとの解説を行っており、10月には概要版を毎戸に配布を予定している。

区長会等に対しては、事業メニューを整理し、PRに努める。取り組み体制は、それぞれの事業での町民の役割を明確にし連携を図る。町の支援は、地域のリーダーとなる人材育成の支援を行う。

環境整備等は、地域活動を行うことで、コミュニティの醸成につながると考えており、側面から支援する。

本町にしかない、  
名物土産品を開発しては  
町長 商工会・物産協会が主体で、  
町は支援



つめえ〜な〜 (大和町産ソバ粉使用)

**議員** 本町の農業振興と商業の活性化を図るため、観光資源と組み合わせた滞在型、体験交流型観光の推進を図っては。また、本町ならではの素材、食材、伝統等を活かした本町ブランドの名物土産品等の創造開発を商工会農協等が連携し町民挙げて取り組む体制づくりを考えてはどうか。

**町長** 「みやぎの地場産業づくりモデル事業」として七ツ森周辺での体験観光を模索し、南川周辺関係者の連携促進により体験観光メニューの整備や探索マップを作成しており、七ツ森周辺への観光客は年々増加している。

地域の素材、人材、伝統を活かした特産品だが、他県か

らの来町者に「何が町の名物土産品か」と言われると、町優良地場産品推奨品の菓子類、農産加工品のソバ類などがあるが、町を挙げての共通したものとなると難しい。

生産者・商工会・物産協会が主体となり、町が支援する体制づくりに努めたい。



中山和広 議員

# シニアの力を生かす場を

## 町長 シルバー人材センター設立へ 向け準備中



議員 上田早夫

**議員** 高齢化時代を迎え、定年後の生きがいを求める人が増えている。この人たちに働く場を与えて健康な町づくりを創れないか。

**町長** 高齢化時代を迎えて、健康で働く意欲を持った人や人材活用・社会参加・自己実現を目指す人や雇用の確保のために「シルバー人材センター」を設立する。平成22年4月の事業開始を目標に、現在準備を進めている。

## 在宅介護、避けられぬ家族の負担

### 町長 今後の検討課題と考える

**議員** 国の介護政策は、病院や施設から在宅へと変更され、介護家族の負担が増えている。町の介護家庭への支援強化を考えては。

**町長** 介護施設のニーズが高まり、入所待機者が増えている。国の在宅介護重視により介護家族の負担が増え、町として包括支援センター職員と



外の空気はいいなー

ケアマネジャーと相談し個々に対応している。町の支援も必要で、財政問題を含め今後の検討課題とする。

# 女性の健康支援ががん対策

町長 全員が受診されることを期待する

**議員** 現在、がんは死亡原因の第1位を占め、3人に1人が亡くなっている。特に女性特有のがんは年々増加傾向にある。厚生省では対策として、検診手帳の交付と子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポン券を配布する制度が始まっている。本町での事業開始はいつ頃か。また、対象者数、受診率向上をどう図るのか。

**町長** 国の経済危機対策の柱の一つとして、6月30日を基準日に対象者が選定されている。子宮頸がん検診対象者は790人、乳がん検診対象者は829人となっている。子

宮頸がん検診は8月1日から実施となり、すでに受診票、検診手帳及び無料クーポン券の配布を終えている。乳がん検診は、来年3月実施となるので、今後配布事務を行う予定である。子宮頸がん検診は医療機関で受診、乳がん検診はひだまりの丘を会場に集団検診を実施する。

**がん対策無料クーポン券対象者**

- ◆子宮頸がん 20、25、30、35、40歳の方
- ◆乳がん 40、45、50、55、60歳の方

「ひとめぼれ」で  
子育て支援を  
町長 効果があると考える



がんは早期発見が大事

**議員** 3人以上の子どがいる家庭に、地元産米「ひとめぼれ」30kgを配る「子育て支援米」支給事業をしてはどうか。成長期の子どもを持つ家庭の経済的な負担を軽減するため、町が引換券を配り、農協や町内の米販売店で新米の「ひとめぼれ」と交換でき、町の地産地消の促進にもつながると思うが。

**町長** 全国的に少子化傾向にあり、本町も同様の傾向にある。将来に与える影響は少ないと認識している。3人以上の子どもを抱える家庭への「米引換券」で、地産地消の促進も考慮した支援だが、「米」を戦略とした総合的支援策は学校給食も含め効果があると思う。

**議員** 少子化時代を迎える今、自治体で独自で出産祝金を給付しているところもある。本町も第3子に3万円ぐらいの出産祝金を出して出生率の向上を図っては。  
**町長** 少子化対策は今後の課題で、定住促進も含めて検討する。



伊藤 勝 議員



堀籠英雄 議員

# 耕作放棄地を農地リースに

## 町長 事例が出たら考える

**議員** 農地は農業者にとって重要な経営基盤であり、耕作放棄地を出さず活用すべきと思う。

農地法の改正により企業も農業に参入できるようになった。認定農業者や集落営農で受入れ不可能なら企業に依頼することも農地を守る意味で必要な判断と考える。農地リース方式で企業を参入させ耕作放棄地や担い手不足の解消も図れる。また、雇用の創出にもつながるので進めてはどうか。

**町長** 農業担い手の育成状況、農地の利用状況等を総合的に判断し、今は実施しない。今後、具体的な事例が出た段階で対応を考える。

**議員** 耕作放棄地は、農業委員だけでは目が行き届かない。行政区に農地パトロール調査

### 一般質問

員を置き、もっと強力に対処し、さらに耕作放棄地対策協議会を設置しては。

**町長** 現在、協議会は県内16市町村で設置している。本町の耕作放棄地約50haの内、農振地以外の農地が多い状況である。国の補正予算では農振地内の耕作放棄地を再生利用の補助を受ける前提として協議会の設置義務があるが本町は補助が該当せず、今後の設置は農業関係団体等と検討を考える。

## 施設命名権を販売しては

### 町長 双方のメリットの検討が必要

**議員** 減収による行政サービスは低下させることはできない。現有資産を有効活用し収入を図るため、全公用車を広告媒体に走る広告塔とし、広告費用で車の燃料代や車検整備費用に充てる考えはないか。

**町長** 掲載希望者のニーズ、費用対効果のバランスが重要な要素と思う。実施に当たっては、事例や広告依頼者視点で検討が必要と考える。

**議員** まほろばホール、総合体育館、ダイナヒルズ公園などをクリネックススタジアム、東京エレクトロンホールのよ

うに施設の命名権を販売するよう企業等に募集を図ってはどうか。

**町長** 多くの団体で実施されているが、入場利用者数が多くなければ、効果は少ない。双方のメリットの合致点が見出せるか検討が必要だ。

うに施設の命名権を販売するよう企業等に募集を図ってはどうか。



命名権で増収を（総合体育館）

# 不在者投票を郵便で

## 町長 制度の周知に努める

**議員** 身体障がい者や高齢により、投票所まで行くことが難しい方が多くいる。平成16年3月以降、介護保険で要介護5と認定された方も郵便での不在者投票ができるようになった。

また、家族などによる代理記載の制度もある。選挙管理委員会は選挙権行使の機会を町民に啓発し、投票率アップを図るべきだ。該当する事例と、今後のPRをどう図っていくのか。

**町長** 郵便等による不在者投票は、身体障がい者手帳か戦傷病者手帳を所有されている

方で、障がいの程度が1級から3級、要介護5の方が認められる。上肢または視覚障害1級の方は代理記載となる。

現在、5名の選挙人に証明を交付し、1名の方が代理記載の届出をしている。要介護5の方は78名おり、パンフレットの配布はしているが、実際に申請される方はいない。今後は、訪問指導の機会に周知を促し、介護サービス事業所にも協力を依頼していく。



議員 久 雄 馬 場

### 一般質問

## 防犯への意識向上を図れ

### 町長 安心・安全のまちの実現をめざす

**議員** 大和町安心安全まちづくり条例が施行されてから、1年8か月が経過した。実行性のある計画とするための基本計画や推進体制は整っているのか。また、情報交換の場となる（仮称）町防犯団体連絡協議会は機能しているのか。7月15日に実施した「まほろばの里2万5000人の安全日」は町民全体への意識浸

透が薄かったのではないかと。町長 計画策定は、防犯や交通安全等、町民の身近な安全安心体制を含めた計画づくりを大和署の指導を受け関係団体と協議・準備を進めていく。町防犯団体連絡協議会はまだ設立していないが、各防犯団体との情報交換を含めた新たな新組織を設立するか、現在の防犯協会の事業を拡大する

か検討していく。安全日は大和署と共催で開催したもので、「全町民参加の安全日」を夏休み前に緊急に計画実施した。朝の出勤式には31関係団体、約300名が参加している。基本計画の策定と活動推進体制の整備を早急に図り、安心して暮らせるまちの実現を目指す。



頼もしいお巡りさん（防犯訓練）

# やりすぎてるよ、 滞納整理機構

## 町長 納税の公平性が必要



議員 史博 藤卷

**議員** 4月に宮城県地方税滞納整理機構ができた。機構設立の目的は。

**町長** 滞納整理機構は、県と市町村が協働し、市町村税の滞納整理を推進、市町村税務職員の徴税技術の向上を図ることを目的に、集中的な滞納整理を行う任意団体として設立した。

**議員** 整理はどのように進むのか。職員を派遣している町では60件の案件を引き受けることがあるが、本町では何件依頼したのか。依頼の判断基準は、またその体制は。

**町長** (1)滞納繰越分で、滞納額累増事案、財産公売事案、広域的な財産調査が必要な事案、滞納者が管外居住の事案など、市町村単独では徴収困

難と判断される事案であること。

(2)滞納額の合計が50万円以上のもの。

(3)滞納事案が訴訟中などのものでないこと。

以上の事案に対して、町から滞納者に移管予告書兼納付催告書を送付し、期間内に連絡がない場合は、協議を経て滞納整理機構に引継ぎすることとしている。

滞納整理機構では、事案引受通知書兼納付催告書を送付し、電話等で連絡があった方に限り、納付相談を行う。連絡がなかった場合は、捜索を実施して、動産や預金の差押えを行う。

本町からは職員を1名派遣し、移管数は60件ある。

**議員** 町内の方で5年前まで納税をキチンとしていたが事業不振で滞納の方がいる。納税相談にも訪れ、税務課の方からも「悪意ある滞納者ではない」という人の徴収をなぜ機構へ移管したのか。

**町長** お話した手順で進めてきた。

**議員** 機構と町の関係はどうなっているのか。

**町長** 宮城県地方税滞納整理機構の会計処理に関する覚書と、市町村徴税吏員の県への派遣に関する協約書を締結している。



税金を納めに来ました

# 国保税の徴収率が低下

## 町長 納付率向上に努める

**議員** 国保税の徴収率が年々低下し、未納滞納が増えてきている。国保税の未納対策として措置している「分納誓約による短期保険証発行」の実態と、国保会計運営上の問題点は何か。

国保会計の運営上、医療費の抑制と国保税現年課税分の納付率の向上が最低条件であり、納付に協力願いたい。

**町長** 国保税未納対策としての分納誓約は、現在85世帯ほどある。さらに、1か月分適用、3か月分適用の短期保険証の発行者数は248世帯、資格証明書発行者は90世帯となっている。

### 国保税収納率状況

- ・国保世帯数 3402世帯
- ・滞納世帯数 1162世帯
- ・徴収率 58・89%（現年分と繰越分を含めて）
- ・滞納繰越額（20年度までに積み重なった滞納額）  
3億8559万円

## どうする吉岡西部地区

### 町長 改善は路面補修で



耕作放棄地も広がる吉岡西部

**議員** 第四次総合計画に基づく都市計画マスタープランにどう位置づけるのか。地権者との協議と意向は。

**町長** 現在策定中の都市計画マスタープランでは、市街化を目指す地区と位置づける。地権者は不安を抱えている。多様な開発手法を考えたい。

**議員** 組合方式の区画整理事業推進は困難な状況でないのか。また、地区内町道の管理の問題と下水処理方式、黒川高校農場問題の進展はあるのか。

**町長** 地区内の町道は狭い状況なので、路面や水路の補修を行う。下水処理方法は、もう少し動向を見極めたい。農

場問題は中断したままとなっている。

**議員** 100年前の耕地整理による地区農地は営農条件が極端に悪い。耕作放棄地対策が急務でないのか。

**町長** 耕作条件の改善は、町単独で路面補修を行うなど改善を図る。



議員 之 浩 橋 鴉

# 研修レポート

## 総務常任委員会

〔視察地〕秋田県美郷町、山形県庄内町

〔視察月日〕6月23日～24日

〔視察者〕高平聡雄委員長、秋山富雄副委員長

中山和広委員、伊藤勝委員

〔視察目的〕美郷町では、「住民参加のまちづくり事業」と「行政区機能強化プロジェクト」を勉強してきました。山形県庄内町では、「パブリックコメント制度」と「住みよい地域づくり活動交付金」を勉強してきました。

## 秋田県美郷町

### 協働参画のまちづくり

行政と地域住民が協力しながらまちづくりを進めるために「美郷町住民活動センター（ミサポート）」を設立した。3名のコーディネーターが常駐しボランティアをする側と、必要とする団体等の橋渡しを行う。

〔所感〕登録したボランティアは「ミサポーター」として活動する。登録者数は個人60人、31団体で活動費は無償であった。元々そういう地域性があるものと感じた。

### 行政区の機能を強化

行政区やボランティア団体等が自主的に活動を行う事業に対し、町が補助金を交付する。

〔所感〕行政区の活動を支援するために補助金を交付しているが、かなり手厚い補助である。本町でも町民や行政区の活動にもっと目を向けるべきと感じた。

## 山形県庄内町

### お役所仕事はダメ

### 住民の意見取り入れて実施

町が計画や条例などを策定する時、案の段階で町民に公表し、寄せられた意見



を考慮し最終案を作る。

〔所感〕行政運営の透明性の向上と、町民の町政参加を拡充しており、公平・公正な町政運営をしていると感じた。

### 使いやすくするために

### 補助金手続きを簡素化

自治会対象の補助金制度を一つにまとめ、事務手続きも年2回（申請と報告）と簡素化し使いやすくした。

〔所感〕地域づくり活動交付金は、手続きも簡素化で自治会にとっては使いやすいう補助金制度と感じた。

報告者 伊藤 勝 委員

## さらなる向上を目指して、技術を学ぶ

## 広報調査特別委員会

〔研修地〕シェンバツハ・サポー（東京都千代田区）

〔研修月日〕8月25日～26日

〔研修者〕堀籠英雄委員長、平渡高志副委員長、秋山富雄委員  
堀籠日出子委員、伊藤 勝委員、藤巻博史委員

〔研修目的〕よりよい議会だより作成のため、全国の町村議会が合同に集う研修会に参加し、作成技術を学んだ。

第70回全国町村議会広報研修会が開かれ、約500名が参加し、本町からも広報委員全員の6名と事務局が参加した。

第1日目は、「わかりやすい文章表現・表記」「情報時代に求められる広報」「ネットPR発想で広がるステークホルダーとのコミュニケーション」の3つの講演を受けた。

2日目は、3つの分科会に分かれ、芳野政明氏、深沢徹氏、城市創氏による議会広報クリニックが行われた。当日は、13町村が議会広報のクリニックを受け、厳しい視点から評価された。

〔所感〕写真は文書以上に大きな働きをするなど、新に得たものが多かった。

特に全員が参加し、研修を受けたことは、今後の広報誌づくりの向上に結びついたと確信している。

報告者 堀籠英雄委員長



# よりよい町にするためには、 議会活性化が必要

議会活性化特別委員会

【視察地】川崎町議会、松島町議会 【視察月日】8月11日  
 【視察者】議会基本条例検討ワーキンググループ  
 馬場久雄委員、桜井辰太郎委員、高平聡雄委員、堀籠英雄委員  
 伊藤 勝委員、松川利充委員、藤巻博史委員  
 【視察目的】議会基本条例を制定した町に学ぶ



議会活性化の調査は「議会基本条例」を検討項目とし、ワーキンググループ員6名で検討を進めている。県内でもいち早く基本条例を制定した松島町と川崎町を視察し、制定までの経過と概要を学んできた。両町ともに条例制定を機に、議員一人一人が資質向上を図ることで町民の期待に応えられる。基本条例には議員間での自由討議の拡大、議会主催の議会報告会、町民との意見交換の場の設置などが盛り込まれている。本議会では、議会活性化委員会が設置されており、一問一答方式を採用するなど変革を試みている。

報告者 馬場久雄 委員

## 議会活性化に向けた取り組み

そもそも、議員とは？

町の運営で、大切なこと（条例や予算など）を決める際、住民一人一人から意見を聞いて決めることは大変なことです。しかし、住民の意見も聞かずに、町で勝手に決めることはできません。そこで、住民の方から代表者を選びます。それが議員です。

議員は、住民から選ばれた代表者で、議員の意見は住民を代表しての意見となります。議会で表決をする際は、住民の立場に立った真剣な一票です。



議会のほたらぎ

議会は、「町の政策の最終決定」と「行財政運営の監視」「町への施策提言」を役割とした議員で構成される合議体（多数決でその意思を決定する組織体）です。



議会を監視する人は？

それは、有権者である住民の皆様です。

議会活性化は  
とても大事なことです

町の行財政は、直接住民皆様の生活や環境にかかわることばかりです。そのような大事なことが、知らず知らずの内に取り決められていき、中には「おかしいのでは？」と思うことも決められていったら、住民の皆さんは不安・不満になります。そのようなことがないように、「住民皆様に開かれた議会」「住民が主人公の議会」の正しい議会であればなりません。

大和町議会の  
取り組みは？

議会活性化の一番大切なことは、住民の皆様に対し、議会の情報を公開することや、説明責任を果たすことです。本議会では、インターネットを利用した審議等のお知らせを行っており、議会傍聴者に分かりやすい質問方法なども検討している最中です。さらに、議会の役割を明文化した議会基本条例の制定に向け研修や視察なども重ね、住民皆様の意見を生かし、開かれた議会にしていきます。





# なしよなったの？ あの提言は

議員が行う提言は、町政にどう反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から一部ピックアップし、その後の経過を追跡してみました。

## いまだに進まず

### 自主防災組織の設置を

①中山和広（平成16年9月議会）  
防災マップで自主防災組織に努めよ。

↓町長 支援対策を研究する。

②堀籠日出子（平成17年3月議会）  
防災に住民あげて取り組みを。

町長 自主防災組織を設置する。

③堀籠英雄（平成17年3月議会・平成20年9月議会）  
行政区ごとに多機能発電機の設置を。

↓町長 組織地区へ防災機材として対応する。

④馬場久雄（平成17年12月議会）  
自主防災組織の結成を急げ。

↓町長 H19年度末まで70%の目標を図る。

⑤平渡高志（平成19年9月議会）  
大災害、備えあれば憂いなし。

↓町長 自主防災組織等と連携を含め考える。

⑥総務代表質疑（伊藤 勝）（平成21年9月議会）  
自主防災組織の結成は、まだ半分以下。

町長 黒川消防署、防火クラブ、町内会等の協力を得て設立に取り組む



備えあれば憂いなし

## 実現しました

### 冬期間も使えます

H19.12 → H20.9

#### 質問

公園トイレを冬期間も使いたい。

#### 答弁

凍結防止を設置し、できる所から開放する。

#### 処理

まほろば公園  
舞野ふるさと公園  
吉岡南中央公園  
城内大堤公園  
} 4か所冬も利用できます



きれいに使いましょう

# 公金と心がけ、大切に使用させていただきました

平成20年度に交付された政務調査費収支報告書の概要をお知らせします。

政務調査費は、「町政のために必要な調査・研究のため」に、議員1人当り月額5,000円が町から交付されます。

政務調査費交付金 会派別収支内訳				
会派名	支出総額 (円)	収入内訳		返還額 (円)
		町からの交付額(円)	会派(議員)負担額(円)	
新政会 (5人)	307,185	300,000	7,185	0
大和フォーラム (2人)	95,971	120,000	0	24,029
鷹山会 (2人)	151,244	120,000	31,244	0
公明党 (1人)	60,240	60,000	240	0
共産党 (1人)	24,790	60,000	0	35,210
無所属 (1人)	126,360	60,000	66,360	0
無所属 (1人)	72,047	60,000	12,047	0
無所属 (1人)	63,470	60,000	3,470	0
無所属 (1人)	43,015	60,000	0	16,985
合計	944,322	900,000	120,546	76,224

内訳

(900,000円「交付額」-76,224円「返還額」)

町から交付を受けた政務調査費の支出(交付)総額は **823,776円** です

広報費  
(10,468円「1.3%」)



- 資料購入費** 図書購入の費用です。
- 調査研究費** 視察研修に行く費用です。
- 事務費** 議員手帳、議員ノート購入の費用です。
- 研修費** 講演会、議員研修会に行く費用です。
- 広報費** 議員活動報告書、勉強会案内チラシ作成の費用です。

### 【主な研修や調査研究】

- 市町村アカデミー議員研修会(千葉県幕張市)
- パナソニックEVエナジー本社(静岡県湖西市)
- 先進地農業視察(秋田県大館村)

## 請願書

● 畜産経営の飼料高騰及び不況による

経営危機に対する助成に関する請願書

【提出者】

- 肥育牛生産農家 代表 門間政好氏
- 肥育牛生産農家 代表 根元仁一氏
- 繁殖牛生産農家 代表 浅井功氏
- 酪農生産農家 代表 佐藤文徳氏

【紹介議員】

- 大崎勝治議員、桜井辰太郎議員
- 浅野正之議員、中山和広議員

【審議結果】 委員会付託 (賛成17 反対0)

この請願は、産業建設常任委員会に付託され、今後調査されます。調査結果は12月議会で報告され、採決が諮られる予定です。

## 陳情書

● 「協同労働の協同組合法(仮称)」

早期制定を求める意見書採択のお願い

【提出者】

- 日本労働者協同組合連合会(ワーカーズコープ)
- センター事業団 東北事業本部 平山清一氏

## 人事に同意

● 9月定例会で決まりました。人事案件は次のとおりです。

固定資産評価審査委員

【新任】

- 渡邊 仁氏 (58歳) 吉岡字館下

教育委員

【再任】

- 伊藤 浩美氏 (48歳) 吉田字長津東



高橋 蓮くん  
宮床小学校 6年

# 大好き!! 大和町



新山 千聖さん  
吉岡小学校 6年

町への思いや将来の夢を書いていただきました。  
ご紹介します

## 町の成長と幸せ

七ツ森をはじめとする、船形山や吉田川など、豊かな自然と素晴らしいながめに恵まれた大和町はとてもすてきな町です。

私は社会科で学んだ歴史に興味があります。大和町にも縄文時代の遺せきや古墳、館あなど多くの史せきが残っています。古くから人が住みやすい町だったのだな、と思いました。まだ私が幼いころは、家の周りにもたくさん虫や

## 野球への挑戦

僕は、宮床こぼとスポーツ少年団で野球をやっています。友達に誘われ、5年生の終わり頃に入部しました。

初めて練習に参加したときは、かなり練習がきつくて感じ、続けていけるかどうか心配でした。でも、続けているうちに、だんだんと上手になり、自信がついてきました。そして、上手になるにつれて、楽しさも感じるようになってきました。

花があったのですが、最近よく整備されてきました。工場なども町内に増えてきて、たくさん人も集まってきて発展してきました。

僕たちは、11月までしか試合に出られないので、一試合でも多く試合に出て、勝ちたいです。そして、まだ打ったことのないホームランを打ちたいです。

# 全国でもトップレベル

### 全国誌で、本議会だよりが評価される

- ◎ 全国的に読みやすく、むだやモタレ感がない。
- ◎ 読者目線の編集がされている。
- ◎ 並の議会にはない見出しで、親しみやすく、分かりやすい。
- △ 請願は紹介議員名も書く。
- ◎ 全体的に読みやすく、むだやモタレ感がない。
- ◎ 読者目線の編集がされている。
- ◎ 並の議会にはない見出しで、親しみやすく、分かりやすい。
- △ 請願は紹介議員名も書く。



## 議会を傍聴してみませんか？

面倒な手続きはありません。1人でも団体でも傍聴できますので、ぜひお越しください。

次回定例会は  
**12月 8日(火)から**  
**12月11日(金)まで**  
の予定です。

大和町議会事務局  
専022・345・7506  
✉ gikai@town.taiwa.miyagi.jp

## 議会広報調査特別委員会

- 編集発行責任者  
議長 大須賀 啓
- 編集委員  
委員長 堀籠 英雄  
副委員長 平渡 闇志  
委員 堀籠 日出子  
委員 秋山 富雄  
委員 伊藤 勝  
委員 藤巻 博史